

第4章 2002年中間選挙の概況

2002年アメリカ中間選挙の投票が、11月5日(11月の第1月曜日の翌日)に行われ、連邦議会議員、州知事、州議会議員等の公職者が選出された。大統領の任期の中間に行われるため、中間選挙と呼ばれるこの選挙は、大統領に対する信任投票として従来位置づけられている。就任後2年の新大統領がめざましい実績をあげることが難しいこともあり、過去共和党が上下院とも議席を増やしたことはない。今回の選挙では、上院の34議席、下院の全議席および全米50州の知事のうち36の州で知事選挙が行われた。民主党は経済問題、共和党は安全保障とテロ対策を争点とし、最後まで接戦を繰り広げた結果、与党共和党はこのジンクスをうち破り、下院選および知事選で過半数を維持するとともに、上院選においても過半数を獲得し圧勝した。

	上院		下院		知事	
	新	旧	新	旧	新	旧
共和党	51	49	230	223	26	27
民主党	48	50	204	211	24	21
独立系	1	1	1	1	0	2
合計	100	100	435	435	50	50

今回の選挙の投票率は、前回1998年の37.6%を上回る39%¹であった。これは、民主党と共和党の接戦を反映したことおよび精力的に選挙区を回ったブッシュ大統領の人気の投票率上昇の要因と見られている。また、上院選において接戦だったサウスダコタ州およびミネソタ州でも60%前後の高い投票率を記録した。

¹ Committee for the Study of the American Electorate の調査による。

1 連邦上院議員

米中間選挙での共和党の歴史的勝利には、上院選の接戦区で民主党候補が軒並み敗退したことが大きく影響した。ミネソタ州、ミズーリ州、ノースカロライナ州、ニュージャージー州などの上院激戦区のうち、民主党の勝利が確定したのはニュージャージー州のローテンバーグ候補だけで残りは、ほぼ全滅だった。

また、今回は上院選に 11 人²の女性候補が出馬したが、当選が決まったのは共和党 2 人、民主党 1 人だけであり、民主党候補は 7 人が落選し、テキサス州でも南部初の黒人上院議員を目指した民主党のカーク候補が敗退した。女性やマイノリティー層で優位にたつとされる民主党がテロ問題などのあおりで十分な票を集められなかった結果といえる。

上院選挙の結果を州ごとにまとめたものが、表 3-1 であり、欄内が網掛け表示となっている候補者が当選者である。

今回争われた 34 議席中、現職議員が引退等の理由により立候補しなかった。「open seat」の 7 選挙区では、ミネソタ州で民主党から共和党が議席を奪還した他は、既存の政党が議席を守った。現職議員が立候補した 27 選挙区（*印）について、民主党は現職 12 人のうちジョージア州とミズーリ州で破れたものの、他の 10 人の現職議員は再選を果たした。共和党は 15 人のうちアーカンソー州で破れた他は 14 人が再選を果たした。結果的に中間選挙は政権党に不利とされている中、共和党が多数派を獲得した。（民主党 48 議席、共和党 51 議席、その他 1 議席）

上院選挙で注目されたのは、ミネソタ州、ミズーリ州、ノースカロライナ州、ニュージャージー州、サウスダコタ州、テキサス州であった。

ミネソタ州では、3 選を目指す民主党の現職ポール・ウェルストン上院議員に共和党の新人ノーム・コールマン前セントポール市長が挑んだ。ウェルストン氏は、対イラク武力行使容認決議に反対したため、コールマン氏からの批判を受けたが、現職である強みを活かし有利に選挙を進めていた。しかし、投票日直前の 10 月 25 日にウェルストン氏が選挙運動中の事故で死亡したため急遽、後継者として 1977 年にカーター民主党政権の副大統領も務めた元駐日大使のモンデール氏が立候補を表明した。当初、抜群の知名度を持つモンデール氏が優勢に選挙戦を進めていたが、ウェルストン氏の葬儀・告別式が政治色の強いものになったことへの批判および終盤にブッシュ大統領夫妻やチェイニー副大統領が応援に駆け付け、保守票を掘り起こしたことからコールマン氏が、接戦の末勝利を収めた。

ミズーリ州では、民主党現職ジーン・カーナハン上院議員に、共和党のジム・タレント前下院議員が挑戦した。カーナハン氏の夫メル氏は、2 年前の上院選の直前に自家用機事故で死亡したが、候補者死亡のまま行わ

² 11 人の中には、予備選挙制度がなく決戦投票に持ち込まれたルイジアナ州の女性候補者 2 人が含まれる。

れた選挙で、当時の共和党現職のジョン・アシュクロフト氏（現在の司法長官）を破って当選した。

その後、ジーン氏は、故人となった夫の後を継ぐ形で選挙後に州知事から上院議員に指名された。今回の選挙でジーン氏は、上院議員を2年経験し、銃規制や中絶問題を巡る女性の選択の権利などを訴え、対するタレント氏は下院議員での4期、8年間の実績を強調した。結果は、2000年の知事選で僅差で敗れた経験もあり、同州内では知名度が高かったタレント氏が接戦の末勝利を収めた。

ノースカロライナ州では、共和党のエリザベス・ドール元労働長官³が、共和党の議席を維持した。民主党候補はクリントン前政権の首席補佐官だったアースキン・ボウルズ氏が立候補し、事前に接戦が予想されていたうえ、全米的な知名度のある候補どうしの対決とあって、注目を集めていた。

ニュージャージー州では、民主党のフランク・ローテンバーグ元上院議員が、選挙活動期間の短さを知名度でカバーし、共和党のダグラス・フォレスター氏を破った。当初は、民主党現職のロバート・トリセリ上院議員が再選に臨んだが、スキャンダルで支持率を落とし、選挙戦の途中で脱落した。ニュージャージー州法では、投票の48日以前なら、候補者を入れ替えることができるが、トリセリ議員が辞退を表明した時点で既に36日しか残されていなかったため、民主党は新候補を決め、州最高裁に入れ替えを認めるよう請願を行った。勿論、共和党は、投票間近に民主党が候補者を入れ替えるのは州法や憲法に違反するとして、差し止めを求めていたが、米連邦最高裁は共和党の訴えを棄却し、民主党の新候補者フランク・ローテンバーグ前上院議員を候補者とした。

サウスダコタ州の争点は、干ばつ対策であった。共和党候補のジョン・スーン下院議員はブッシュ大統領が自ら上院へのくち替えを口説いたほどの政権との近さを売り物にし、米農務省とともに干ばつ被害を受けた畜産農家に補助金を出すとした。一方、民主党現職ティム・ジョンソン上院議員は、干ばつ被害の対策費を予算化する案の上院通過を先導し、同州で絶大な人気を誇るダシュル上院院内総務との2人3脚を前面に押し出した。ブッシュ大統領が何度も足を運ぶなど事実上「ダシュル上院院内総務とブッシュ大統領の代理戦争」となった結果は、僅差で現職のティム・ジョンソン上院議員が勝利を収めた。

ブッシュ大統領のお膝元テキサス州では、共和党保守派のフィル・グラム上院議員の引退を受けて、減税賛成、中絶反対など保守派の政策を忠実に訴える共和党のジョン・コーニン州司法長官と民主党で前ダラス市長のロン・カーク氏の一騎打ちとなった。カーク氏は、ダラス市長時代、財界と協調しつつ人種間の対立を改善したことから、1999年の再選の時には、74%の支持を受け再選された経歴を活かし、今回の選挙でも南部初の黒人上院議員誕生を期待されたが、後一步のところでは勝利を逃した。

³ 96年大統領選に出馬したボブ・ドール元共和党院内総務は夫

表3-1:連邦上院議員選挙結果

出典:「New York Times」

州名	移動		候補者		
	lost	gain	民主党	共和党	独立系
Alabama *			Susan Parker	Jeff Sessions *	Jeff Allen
Alaska *			Frank Vondersaar	Ted Stevens *	Jim Sykes
Arkansas *	R	→ D	Mark Pryor	Tim Hutchinson *	
Colorado *			Tom Strickland	Wayne Allard *	Douglas Campbell
Delaware *			Joseph Biden *	Raymond Clatworthy	Maurice Barros
Georgia *	D	→ R	Max Cleland *	Saxby Chambliss	Claude Thomas
Idaho *			Alan Blinken	Larry Craig *	Donovan Bramwell
Illinois *			Richard Durbin *	Jim Durkin	Steven Burgauer
Iowa *			Tom Harkin *	Greg Ganske	Timothy Harthan
Kansas *				Pat Roberts *	Steven Rosile
Kentucky *			Lois Combs Weinberg	Mitch McConnell *	
Louisiana *			Mary Landrieu *	Suzanne Terrell	Patrick Landry
Massachusetts *			John Kerry *		Michael Cloud
Maine *			Chellie Pingree	Susan Collins *	
Michigan *			Carl Levin *	Andrew Raczowski	Eric Borregard
Minnesota	D	→ R	Walter Mondale	Norm Coleman	Jim Moore
Missouri *	D	→ R	Jean Carnahan *	Jim Talent	Tamara Millay
Mississippi *				Thad Cochran *	Shawn O'Hara
Montana *			Max Baucus *	Mike Taylor	Stan Jones
North Carolina			Erskine Bowles	Elizabeth Dole	Sean Haugh
Nebraska *			Charlie Matulka	Chuck Hagel *	John Graziano
New Hampshire			Jeanne Shaheen	John Sununu	Ken Blevens
New Jersey			Frank Lautenberg	Douglas Forrester	Ted Glick
New Mexico *			Gloria Tristani	Pete Domenici *	
Oklahoma *			David Walters	James Inhofe *	James Germalic
Oregon *			Bill Bradbury	Gordon Smith *	Dan Fitzgerald
Rhode Island *			John Reed *	Robert Tingle	
South Carolina			Alex Sanders	Lindsey Graham	Ted Adams
South Dakota *			Tim Johnson *	John Thune	Kurt Evans
Tennessee			Bob Clement	Lamar Alexander	John Hooker
Texas			Ron Kirk	John Cornyn	Scott Jameson
Virginia *				John Warner *	Nancy Spannaus
West Virginia *			Jay Rockefeller *	Jay Wolfe	
Wyoming *			Joyce Corcoran	Michael Enzi *	

1 D,Rはそれぞれ民主党、共和党を示す。

2 「候補者」の欄中、*印は現職が出馬した州および現職を示し、網掛けの欄は当選者を示す。

2 連邦下院議員

下院選挙は、定数 435（共和党 223、民主党 208、無所属 1、欠員 3）の全議席が改選され、過半数の 218 議席を制した党が多数派となる。これまで中間選挙では、国民のバランス感覚が働くと言われ、政権与党に不利であり、下院で政権与党が議席を増やしたのは、過去 50 年間で 1998 年の 1 度しかない。また、今年は 10 年ごとに行われる国勢調査の結果を踏まえた選挙区割りの見直しが行われ、18 の州で定員数に変更（表 3-2 参照）があったが、これがどう選挙に影響を与えるかについても注目された。

選挙の結果、共和党 230 議席（改選前 223 議席）、民主党 204 議席（改選前 208 議席）、独立系 1 と当初の報道の予想どおり共和党が着実に議席を増やした。

州ごとの議席数の増減をみると議席数の変動のあった 22 州のうち、民主党が議席を増加させた州が 7、共和党が 9⁴となっている。

次に同一政党による州別の下院議員の過半数占有の状況をみると（表 3-3 中議席数が網掛けの欄となっているものが、その州の下院議員の過半数を占めているものを表す。）民主党 15 州（改選前 17 州）、共和党 31 州（改選前 28 州）、両党同数または独立系 4（改選前 5 州）となっている。なお、議席数に変動があった 22 州のうち、過半数を占有する党に変化があったのは 9 州（*印）であり、そのうち共和党が過半数を占有出来なくなった州はテネシー州だけであった。他の 8 州では民主党が過半数を占有できなくなったか、両党同数に変化した。

下院選挙で注目されたのは、メリーランド州、カリフォルニア州、ペンシルベニア州であった。

メリーランド州では、対イラク武力行使を認める決議案に反対したメリーランド 8 区の共和党現職、コンスタンス・モレラ氏が落選した。教師出身のモレラ氏は 87 年以来、モンゴメリーカウンティを地盤に連続当選してきたが、今回は選挙区割りの変更で、民主党支持者が約 55%、共和党支持者は約 25%という厳しい有権者構成の選挙区での選挙となった。現有議席を失いたくないブッシュ大統領は、「イラク決議反対」を理由にモレラ議員のために選挙資金を集める行事を中止しようとした一部共和党員の動きにストップをかけ、むしろ強力に支援し、民主党もクリントン前大統領ら大物を次々に動員し、注目の激戦区となっていた。

カリフォルニア州では、いずれも民主党のロレッタ・サンチェス氏、リンダ・サンチェス氏のヒスパニック系姉妹が誕生した。姉妹の下院議員は米国史上初である。同州 47 区で 4 選を果たしたロレッタさんは、隣接の 39

⁴ 区割り変更のため、共和党と民主党の加算は 22 にならない。

例えば、ある州で昨年までは（区割り変更までは）、5 議席あったが、区割り変更の結果 4 議席になった場合、共和党が 1 議席を失ったとしても民主党の議席は増加しない。

区から立候補したリンダさんを全面的に応援していた。

ペンシルバニア州 17 区では、現職下院議員の 2 人が激突した。民主党候補ティム・ホールデン下院議員は、同州 6 区で 5 期 10 年務めたが、選挙区割り変更で共和党のジョージ・ギカス下院議員が 10 期 20 年務めている選挙区 17 区への移転を強いられた。その結果は、大方の予想を裏切りホールデン氏が勝利をおさめた。

また、同州は 2000 年の国勢調査に基づく定数改正により、21 から 19 議席に減ったことから、州議会を支配する共和党が、最大限に議席が得られる区割り案の作成を大学に委託した。

その後、共和党は議会の批判を押し切り、この案を採択した結果、全体的には共和党 12、民主党 7 と共和党の思惑通りの結果となった。

(表 3 - 2)

選挙区割りの変更による各州の定数の変更

州	国勢調査前 の連邦下院 定数	国勢調査後 の連邦下院 定数の増減
Arizona	8	+2
California	53	+1
Colorado	7	+1
Connecticut	5	-1
Florida	25	+2
Georgia	13	+2
Illinois	19	-1
Indiana	9	-1
Michigan	15	-1
Mississippi	4	-1
Nevada	3	+1
New York	29	-2
North Carolina	13	+1
Ohio	18	-1
Oklahoma	5	-1
Pennsylvania	19	-2
Texas	32	+2
Wisconsin	8	-1

表3-3: 連邦下院議員選挙結果

出典: New York Times

州名	計	民主党			共和党		
		選挙		増減	選挙		増減
		前	後		前	後	
Alabama	7	2	2	0	5	5	0
Alaska	1	0	0	0	1	1	0
Arizona	8	1	2	1	5	6	1
Arkansas	4	3	3	0	1	1	0
California	53	32	33	1	20	20	0
Colorado	7	2	2	0	4	5	1
Connecticut*	5	3	2	▲1	3	3	0
Delaware	1	0	0	0	1	1	0
Florida	25	8	7	▲1	15	18	3
Georgia	13	3	5	2	8	8	0
Hawaii	2	2	2	0	0	0	0
Idaho	2	0	0	0	2	2	0
Illinois*	19	10	9	▲1	10	10	0
Indiana	9	4	3	▲1	6	6	0
Iowa	5	1	1	0	4	4	0
Kansas	4	1	1	0	3	3	0
Kentucky	6	1	1	0	5	5	0
Louisiana	7	2	3	1	5	4	▲1
Maine	2	2	2	0	0	0	0
Maryland*	8	4	6	2	4	2	▲2
Massachusetts	10	10	10	0	0	0	0
Michigan*	15	9	6	▲3	7	9	2
Minnesota*	8	5	4	▲1	3	4	1
Mississippi*	4	3	2	▲1	2	2	0
Missouri	9	4	4	0	5	5	0
Montana	1	0	0	0	1	1	0
Nebraska	3	0	0	0	3	3	0
Nevada*	3	1	1	0	1	2	1
New Hampshire	2	0	0	0	2	2	0
New Jersey	13	7	7	0	6	6	0
New Mexico	3	1	1	0	2	2	0
New York	29	19	18	▲1	12	11	▲1
North Carolina	13	5	6	1	7	7	0
North Dakota	1	1	1	0	0	0	0

州名	計	民主党			共和党		
		選挙		増減	選挙		増減
		前	後		前	後	
Ohio	18	8	6	▲2	11	12	1
Oklahoma	5	1	1	0	5	4	▲1
Oregon	5	4	4	0	1	1	0
Pennsylvania	19	10	7	▲3	11	12	1
Rhode Island	2	2	2	0	0	0	0
South Carolina	6	2	2	0	4	4	0
South Dakota	1	0	0	0	1	1	0
Tennessee*	9	4	5	1	5	4	▲1
Texas	32	17	17	0	13	15	2
Utah	3	1	1	0	2	2	0
Vermont	1	independence	independence	1	independence	independence	1
Virginia	11	3	3	0	8	8	0
Washington	9	6	6	0	3	3	0
West Virginia	3	2	2	0	1	1	0
Wisconsin*	8	5	4	▲1	4	4	0
Wyoming	1	0	0	0	1	1	0
合計	435	211	204	▲7	223	230	7
		independence	independence	1	independence	independence	1

1 数字は議席数を示す。

2 数字のうち、網掛け表示のものは、その政党がその州内の議席の過半数を占めていることを示す。

3 州名に*印がついているものは、過半数を占める政党が選挙戦後で変わったことを示す。

3 州知事・州議会議員

(1) 州知事

今回争われた 36 州のうち、現職知事が引退（任期制限によるものを含む。）のため立候補しなかった「open seat」は 20 州であり、その内訳は民主党 6 に対し共和党 12、独立系 2 であった。この 20 州の結果をみると共和党は自党知事が空けた 12 州のうち 9 州を民主党に明け渡したが、5 州を民主党から 1 州を独立系から奪還した。これにより、共和党は 3 州減の 9 州、民主党は 5 州増（独立系からの 1 州を含む。）の 11 州となり、民主党の健闘が目立った。（表 3 - 4 参照）

それに対し、現職知事（*印）が立候補した他の 16 州については、共和党はウィスコンシン州を除く 10 州で現職知事が再選を果たすとともにアラバマ、ジョージア、サウスカロライナの 3 州で民主党の現職知事を落選させるなど共和党の健闘が目立った。これにより、民主党は 14 州（改選前 11 州）、共和党は 22 州（改選前 23 州）となり、非改選と合わせると民主党 24 州（改選前 21 州）、共和党 26 州（改選前 27 州）、独立系 0（改選前 2）となった。

知事選挙で注目されたのは、フロリダ州、メリーランド州、ハワイ州であった。

フロリダ州では、ブッシュ大統領の実弟で再選を目指す共和党の現職ジェブ・ブッシュ知事と 9 月の予備選挙でジャネット・リノ前司法長官を破った民主党新人のビル・マクブライド氏の選挙戦となった。同州は前回大統領選で多くもめた経緯があり、民主党はブッシュ大統領の基盤を揺るがす狙いも込めて、クリントン前大統領ら著名政治家を総動員してマクブライド氏を応援していた。対するブッシュ大統領も 10 数回フロリダ入りし応援を続けた。最大の争点は、教育問題であり、州内には中南米からの移民のためヒスパニック系人口が 16.8%⁵に達するとともに、英語の読み書きが十分できない子供が増え、学校数が追いつかない状況となっている。ブッシュ氏は、「小学校 5 年生の算数を理解できた児童は、4 年前は 22% しかいなかったが、教育改革の結果、今では 50% に上昇した。」と述べるなど実績を強調したが、マクブライド氏は、少人数教室の維持を約束、財源に増税を提案したのが、かえって反発を招き、結果はブッシュ氏が 10 ポイント以上の大差で勝利を収めた。

メリーランド州では、女性の権利保護や銃規制の強化を訴えた故ロバートケネディ上院議員の長女で、同州副知事の民主党カスリーン・ケネディ・タウンゼント氏と、州の赤字財政建て直し、銃規制の緩和を主張した共和党下院議員のロバート・アーリック氏の戦いとなった。タウンゼント氏は、知名度の高さもあり圧倒的な優位に立っていたが、民主党の現職知事が財政問題などで不人気だった影響に加え、アーリック氏が

⁵ アフリカ系(14.6%)を上回る。

ら責任は副知事にもあると追及され、選挙終盤には互角の戦いとなった。結局、巨額の財政赤字や慢性的な交通渋滞など州の行政に対する住民の不満は強く、タウンゼント氏は苦杯をなめた結果となった。

女性候補同士の戦いとなったハワイ州知事選は、共和党候補のリンダ・リングル前マウイ市長が、民主党候補で日系1世のメイジー・ヒロノ州副知事を破った。ヒロノ副知事は福島県で生まれ、ハワイに移住。当選すれば、アジア系移民女性初の知事となるはずだった。

ハワイは民主党の地盤だが、近年は汚職などが明るみに出て、新風を求める声が高まっていた。対立候補のリングル前市長は、「変化」をキーワードに支持を広げ、優勢な戦いを進めていた。ヒロノ候補は日系人、アジア系移民、組合労働者など草の根層に支えられ、終盤になって激しく追い上げたが、及ばなかった。知事選での女性同士の対決は、86年のネブラスカ州知事選以来2回目とあって、全米の注目を集めた。

表3-4: 州知事選挙結果

出典:「New York Times」

州名	移動		候補者			
	lost	gain	民主党	共和党	独立系	
Alabama*	D	→	R	Donald Siegelman*	Bob Riley	John Sophocleus
Alaska	D	→	R	Fran Ulmer, Dem	Frank Murkowski	Diane Benson
Arizona	R	→	D	Janet Napolitano	Matt Salmon	Richard Mahoney
Arkansas*				Jimmie Lou Fisher	Mike Huckabee*	
California*				Gray Davis*	Bill Simon	Peter Camejo
Colorado*				Rollie Heath	Bill Owens*	Ronald Forthofer
Connecticut*				Bill Curry	John Rowland*	
Florida*				Bill McBride	John Ellis "Jeb" Bush*	Robert Kunst
Georgia*	D	→	R	Roy Barnes*	Sonny Perdue	Garrett Hayes
Hawaii	D	→	R	Mazie Hirono	Linda Lingle	Kau'i Hill
Idaho*				Jerry Brady	Dirk Kempthorne*	Daniel Adams
Illinois	R	→	D	Rod Blagojevich	Jim Ryan	Cal Skinner
Iowa*				Tom Vilsack, Dem*	Doug Gross	Jay Robinson
Kansas	R	→	D	Kathleen Sebelius	Tim Shallenburger	Ted Pettibone
Main	I	→	D	John Baldacci	Peter Cianchette	John Michael
Maryland	D	→	R	Kathleen Kennedy Townsend	Robert Ehrlich Jr.	Spear Lancaster
Massachusetts				Shannon O'Brien	Mitt Romney	Jill Stein
Michigan	R	→	D	Jennifer Granholm	Dick Posthumus	Douglas Campbell
Minnesota	I	→	R	Roger Moe	Tim Pawlenty	Timothy Penny
Nebraska*				Stormy Dean	Mike Johanns*	Paul Rosberg
Nevada*				Joe Neal	Kenny Guinn*	None of the Above
New Hampshire	D	→	R	Mark Fernald	Craig Benson	John Babiarz
New Mexico	R	→	D	Bill Richardson	John Sanchez	David Bacon
New York*				Carl McCall	George Pataki*	B. Thomas Golisano
Ohio*				Timothy Hagan	Bob Taft*	John Eastman
Oklahoma	R	→	D	Brad Henry	Steve Largent	Gary Richardson
Oregon				Ted Kulongoski	Kevin Mannix	Tom Cox
Pennsylvania	R	→	D	Ed Rendell	Mike Fisher	Ken Krawchuk
Rhode Island				Myrth York	Donald Carcieri	
South Carolina*	D	→	R	Jim Hodges*	Mark Sanford	
South Dakota				Jim Abbott	Mike Rounds	James Carlson
Tennessee	R	→	D	Phil Bredesen	Van Hilleary	Edwin Sanders
Texas*				Tony Sanchez	Rick Perry*	Jeff Daiell
Vermont	D	→	R	Doug Racine	Jim Douglas	Cornelius Hogan
Wisconsin*	R	→	D	Jim Doyle	Scott McCallum*	Ed Thompson
Wyoming	R	→	D	Dave Freudenthal	Eli Bebout	Dave Dawson

1 D,Rはそれぞれ民主党、共和党を示す。

2 「候補者」の欄中、*印は現職が出馬した州及び現職を示し、網掛けの欄は当選者を示す。

(2) 州議会議員

州議会議員の議席総数は、上院 1,922、下院 5,411、無党派一院制のネブラスカ州 49 の計 7,382 議席であり、今回 46 の州で選挙が実施された。選挙の結果、ネブラスカ州を除く、上院で民主党が過半数を占有する州は 20 州（改選前 23 州）、共和党は 27 州（改選前 24 州）、両党同数 2 州（改選前 2 州）である。下院で、民主党が過半数を占有する州は 23 州（改選前 26 州）、共和党は 26 州（改選前 23 州）であり、州議会議員選挙でも共和党が着実に勢力を拡大した。

また、ネブラスカ州を除く 49 州のうち、同一の政党が両院とも支配している州は、民主党支配州 16 州（改選前 18 州）、共和党支配州 21 州（17 州）となった。さらに州知事の所属政党を加え、立法、行政の全てを同一政党が支配している州をみると民主党完全支配州 6 州（改選前 7 州）、共和党完全支配州 13 州（改選前 12 州）である。（表 3-5 参照）

表3-5: 州議会議員等選挙結果一覧

出典: National Conference of State Legislatures 資料より作成

州名	上院		下院		〈知事〉	
	選挙前	選挙後	選挙前	選挙後	選挙前	選挙後
Alabama	D	D	D	D	D	R
Alaska	R	R	R	R	D	R
Arizona	TIED	R	R	R	R	D
Arkansas	D	D	D	D	R	R
California	D	D	D	D	D	D
Colorado	D	R	R	R	R	R
Connecticut	D	D	D	D	R	R
Delaware	D	D	R	R	D選挙無	
Florida	R	R	R	R	R	R
Georgia	D	R	D	D	D	R
Hawaii	D	D	D	D	D	R
Idaho	R	R	R	R	R	R
Illinois	R	D	D	D	R	D
Indiana	R	R	D	D	D選挙無	
Iowa	R	R	R	R	D	D
Kansas	R	R	R	R	R	D
Kentucky	R	R	D	D	D選挙無	
Louisiana	D	D	D	D	R選挙無	
Maine	D	D	D	D	I	D
Maryland	D	D	D	D	D	R
Massachusetts	D	D	D	D	R	R
Michigan	R	R	R	R	R	D
Minnesota	D	D	R	R	I	R
Mississippi	D	D	D	D	R選挙無	
Missouri	R	R	D	R	D選挙無	
Montana	R	R	R	R	R選挙無	
Nebraska	無党派、一院制				R	R
Nevada	R	R	D	D	R	R
New Hampshire	R	R	R	R	D	R
New Jersey	TIED	TIED	D	D	R選挙無	
New Mexico	D	D	D	D	R	D
New York	R	R	D	D	R	R
North Carolina	D	D	D	R	D選挙無	
North Dakota	R	R	R	R	R選挙無	

4 ブッシュ大統領の選挙応援

今回の選挙は、共和党の大勝利に終わったが、ブッシュ大統領の選挙応援も勝利の一因であった。大統領は、閣僚らの人事承認権や条約批准権など大きな権限を握る上院での主導権を奪回して、ホワイトハウスと上下両院の三つを支配しようと、10月31日から5日間の最後の遊説キャンペーンで上院選や知事選の激戦区だけでなく、下院選の候補の応援にも顔を出し、15州17都市を回り、激戦区のコ入れを図った。

5 選挙資金

米連邦選挙委員会（FEC）の集計（2003年1月2日現在）によると2001年1月1日から同年11月25日までに上院、下院選挙に民主・共和両党が支出した資金額は7億7千230万ドルだった。これは、2000年の上下両院の選挙に比べると10%減少したものの激戦区では大量の選挙資金が投じられた。

The center for responsive politics⁶の調査による最も多く選挙資金が投じられた選挙区は、元労働長官のエリザベス・ドール氏とクリントン政権で首席補佐官だったアースキン・ボウルズ氏が激戦を繰り広げたノースカロライナ州の上院選挙で、約2千700万ドルが投じられた。（表3-6）

また、個人別で最も多く選挙資金を投じたのは同じくドール氏で、約1千3百万ドルの資金が投じられた。（表3-7）

(表3-6)		(表3-7)		
最も多く選挙資金が投じられた選挙区		最も選挙資金を投じた上院議員		
1.	North Carolina Senate	\$26,733,598	1 Dole, Elizabeth (R) (North Carolina Senate)	\$13,509,660
2.	Missouri Senate	\$20,103,637	2 Bowles, Erskine B (D) (North Carolina Senate)	\$13,223,938
3.	Texas Senate	\$18,413,288	3 Wellstone, Paul (D) (Minnesota Senate)	\$12,569,663
4.	Georgia Senate	\$17,652,099	4 Carnahan, Jean (D)* (Missouri Senate)	\$12,164,052
5.	Iowa Senate	\$13,589,258	5 Forrester, Douglas R (R) (New Jersey Senate)	\$9,982,856
6.	New Jersey Senate	\$12,852,227		
7.	South Dakota Senate	\$12,817,148		
8.	Minnesota Senate	\$11,426,200		
9.	Louisiana Senate	\$10,606,876		
10.	South Carolina Senate	\$10,276,754		
出典：The center for responsive politics		出典：The center for responsive politics		

⁶ The center for responsive politics:連邦議会の政治献金を調査する非営利団体

6 出口調査

大統領選挙等の選挙の出口調査は、選挙調査共同体「Voter News Service」(VNS)⁷が主に行っている。「VNS」は、有権者の投票行動の調査や実際の票の集計の出口調査を行っているが、2000年の大統領選で、VNSの調査に基づき開票速報を流したテレビ各社がフロリダ州の開票結果を2度にわたって誤報し、議会からもメディア批判が高まった。今回の中間選挙に向けてVNSは、コンピュータの調査システムに改良を加えていたが、精度を高めることができず、今回は出口調査結果を公表しなかった。その結果、各報道は選管が発表する資料を基に報道をしたため、当落の報道が大幅に遅れた。

⁷ Voter News Service:報道各社それぞれが、出口調査を行うには費用が係りすぎるとして1990年にABC、NBC、CBS、CNN、FOXのテレビ局の他、AP通信などの出資により設立

第5章 フロリダ州における選挙の執行 (2002 年中間選挙)

2000 年の大統領選挙で集計に問題のあったフロリダ州でも知事選挙をはじめとする選挙が行われた。

フロリダ州では、2000 年の失敗を繰り返さないよう 2001 年 6 月に投票機器の標準基準等を定めた「Florida Statutes and the Florida Voting System Standards」を制定した。これは、当時使用していたパンチカード式投票機を廃止するかわりに州の定めた基準に適合したマークセンス式の投票機またはタッチスクリーン式の投票機を使用するシステムを開発したカウンティに対し、補助金を交付するものである。

この法律に基づきエレクトジョン・システム・ソフトウェア(Election System Software)社(以下「ES&S 社」という。)、セコイア(Sequoia)社およびディボールド(Diebold)社の 3 社が認証された。

各カウンティでは、中間選挙に向けて投票機器の交換をすすめ、最終的には全てのカウンティで投票機器の交換が終了した(マークセンス方式 52 カウンティ、電子投票方式 15 カウンティ)。

【フロリダ州内での投票機器の使用状況】

County	マークセンス投票機種名	County	マークセンス投票機種名
1 Hardee County	"AccuVote ES2001B, GEMS 1.17.17"	36 Bradford County	ES&S Voting System Release 1.1
2 Baker County	"Optech IIIP Eagle, Release 1"	37 Liberty County	ES&S Voting System Release 1.1
3 Alachua County	Diebold AccuVote ES 2000	38 Union County	ES&S Voting System Release 2
4 Brevard County	Diebold AccuVote ES 2000	39 Gadsden County	ES&S Voting System Release 3
5 Calhoun County	Diebold AccuVote ES 2000	40 Gulf County	ES&S Voting System Release 3
6 Citrus County	Diebold AccuVote ES 2000	41 Marion County	ES&S Voting System Release 3
7 Columbia County	Diebold AccuVote ES 2000	42 Suwannee County	ES&S Voting System Release 3
8 DeSoto County	Diebold AccuVote ES 2000	43 Highlands County	ES&S Voting System Release 3.2
9 Dixie County	Diebold AccuVote ES 2000	44 Bay County	ES&S Voting System Release 4.2
10 Duval County/City of Jacksonville	Diebold AccuVote ES 2000	45 Franklin County	ES&S Voting System Release 4.2
11 Flagler County	Diebold AccuVote ES 2000	46 Lafayette County	ES&S Voting System Release 4.2
12 Gilchrist County	Diebold AccuVote ES 2000	47 Escambia County	ES&S Voting System Release 5
13 Glades County	Diebold AccuVote ES 2000	48 St. Johns County	ES&S Voting System Release 5
14 Hernando County	Diebold AccuVote ES 2000	49 Hamilton County	ES&S Voting System Revised Release 3.1
15 Jefferson County	Diebold AccuVote ES 2000	50 Hendry County	ES&S Voting System Revised Release 3.1
16 Leon County	Diebold AccuVote ES 2000	51 Jackson County	ES&S Voting System Revised Release 3.1
17 Levy County	Diebold AccuVote ES 2000	52 Clay County	Optech Mark Sense
18 Madison County	Diebold AccuVote ES 2000		
19 Manatee County	Diebold AccuVote ES 2000		
20 Monroe County	Diebold AccuVote ES 2000		
21 Okaloosa County	Diebold AccuVote ES 2000		
22 Okeechobee County	Diebold AccuVote ES 2000		
23 Osceola County	Diebold AccuVote ES 2000		
24 Polk County	Diebold AccuVote ES 2000		
25 Putnam County	Diebold AccuVote ES 2000		
26 Seminole County	Diebold AccuVote ES 2000		
27 St. Lucie County	Diebold AccuVote ES 2000		
28 Taylor County	Diebold AccuVote ES 2000		
29 Volusia County	Diebold AccuVote ES 2000		
30 Wakulla County	Diebold AccuVote ES 2000		
31 Walton County	Diebold AccuVote ES 2000		
32 Holmes County	ES&S Optech IIIP Eagle		
33 Orange County	ES&S Optech IIIP Eagle		
34 Santa Rosa County	ES&S Optech IIIP/Optech IVC		
35 Washington County	ES&S Optech IIIP/Optech IVC		

County	電子投票機種名
1 Hillsborough County	AVC Edge Voting System
2 Indian River County	AVC Edge Voting System
3 Palm Beach County	AVC Edge Voting System
4 Pinellas County	AVC Edge Voting System
5 Lake County	ES&S Voting System Release 2
6 Sarasota County	ES&S Voting System Release 2
7 Sumter County	ES&S Voting System Release 2
8 Charlotte County	ES&S Voting System Release 3
9 Collier County	ES&S Voting System Release 3
10 Martin County	ES&S Voting System Release 3
11 Miami-Dade County	ES&S Voting System Release 3
12 Nassau County	ES&S Voting System Release 3
13 Broward County	ES&S Voting System Release 4.2
14 Lee County	ES&S Voting System Release 4.2
15 Pasco County	ES&S Voting System Release 4.2

注 同じ機種名でもマークシート方式と電子投票方式の両方の方式があるものもある。

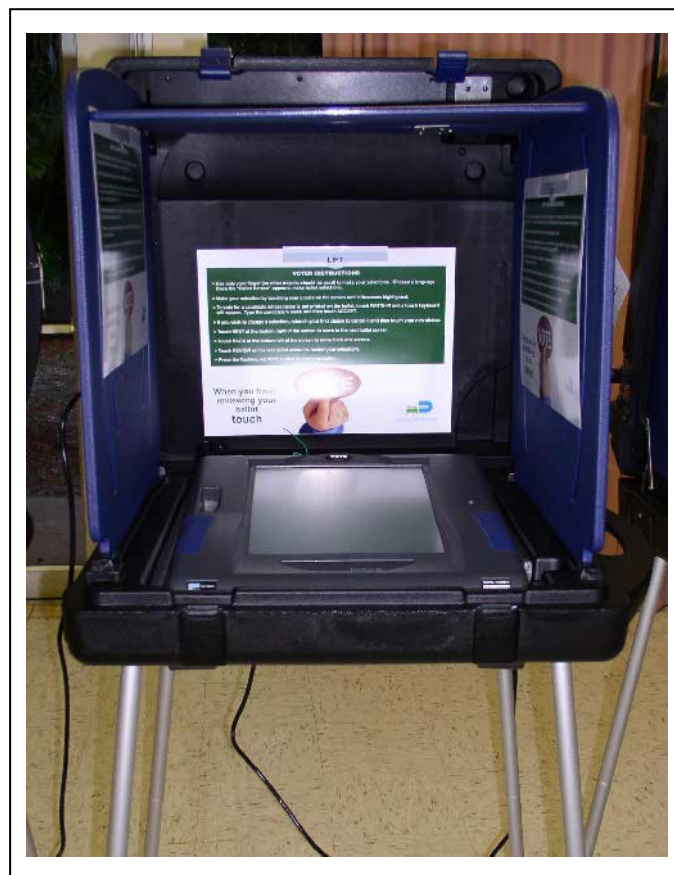
9月に行われた予備選挙においてこれらの新機種が初めて使用されたが、特に電子投票機器を使用したカウンティにおいて選挙従事職員の訓練不足等による混乱が生じた。

マイアミデイドカウンティ（以下「デイドカウンティ」という。）もその一つであった。デイドカウンティでは、各機器を起動させるための方法がわからない選挙従事職員がいたため、全ての機器が起動するまで投票者を投票所に入場させないといった事態が生じたことから投票時間が予定の19時から21時まで延長された。

1 マイアミデイドカウンティの概要

デイドカウンティは、人口2,289,683人のうち、57.3%がヒスパニック系である。（キューバ移民多い）。マイアミ市はじめ27自治体を包含する観光地域である。

デイドカウンティでは、ES&S、セコイア社およびディボールド社の3社のうちからES&Sが開発した「iVOTRONIC」を7,200台、2,450万ドルで購入した。

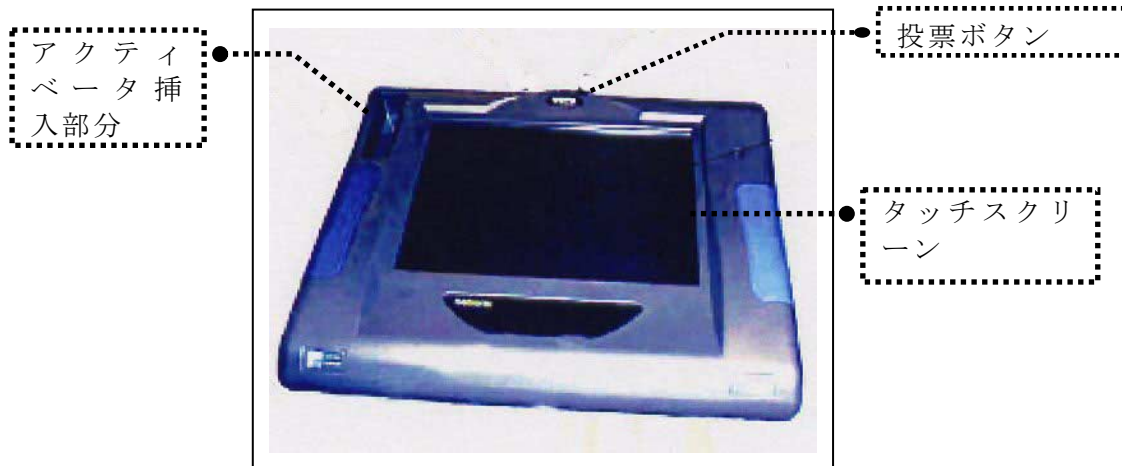


2 iVOTRONIC の概要および操作方法

(1) システム概要

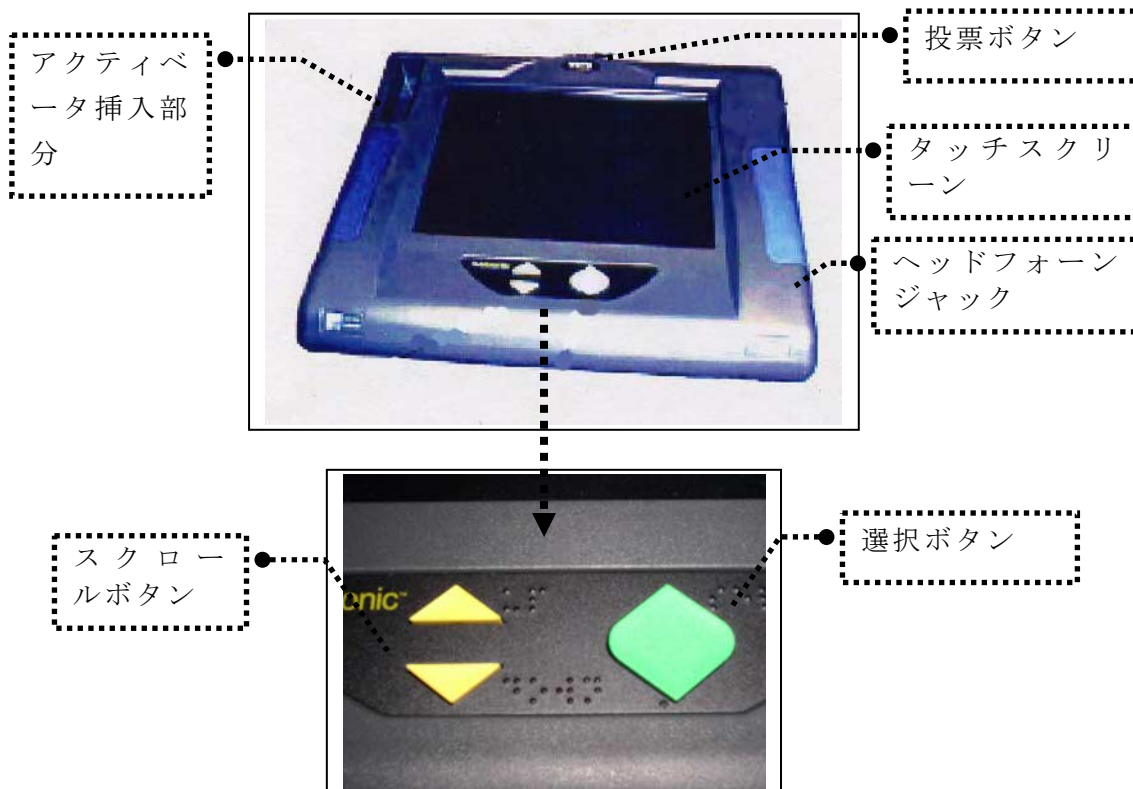
① 端末

iVOTRONIC は、画面にタッチして項目を選択するタッチスクリーン式端末である。端末内部にあるメモリーカードにデータを保存する。



② 端末（視覚障害者用）

通常の端末との違いは、下部に選択ボタン、スクロールボタンが、右側にヘッドフォンジャックがついているところである。また、スクロールボタン、選択ボタンの右上には点字の説明がついている。

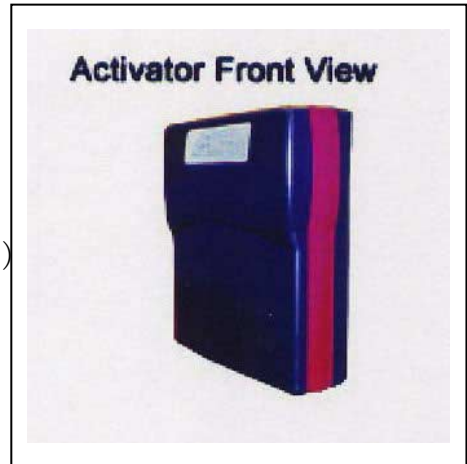


③ アクティベータ

端末の左上に差し込むことにより、端末の起動等を行うことができる。

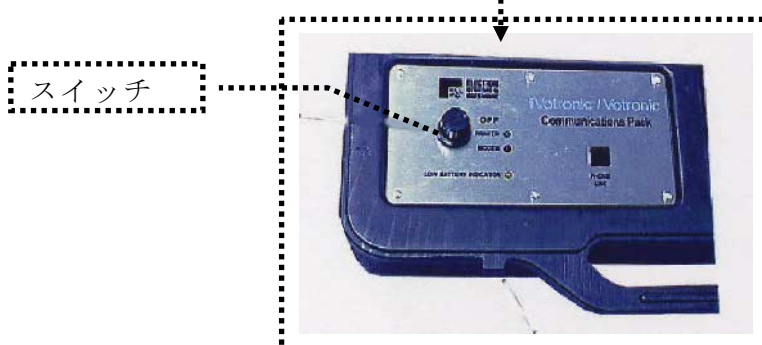
アクティベータにはその用途により、3つの種類¹がある。

- ア マスターアクティベータ（青色）
端末の起動または停止（データの収集）のときに使用
- イ バロットアクティベータ（赤）
選挙人が投票するときに使用
- ウ デモンストレーションアクティベータ
デモンストレーションをするときに使用



④ プリンター

投票時間終了後、データが印刷される。

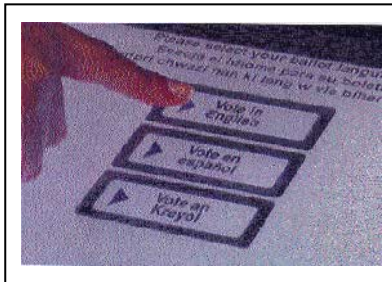


¹ 実際の投票所では、もう一つのアクティベータ（黄色）が端末のロックのために使用されていたことから、ガイドブックには掲載されていないが、4種類のアクティベータがあることとなる。

(2) 操作方法



- ① アクティベーターインスペクターが、アクティベーターを iVotronic に挿入



- ② 使用言語を選択



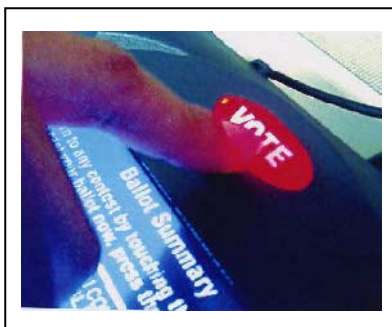
- ③ 画面に投票する候補者の一覧が表示されるので、投票を希望する候補者名の右横にある○をタッチし、候補者を選択する。



- ④ 候補者リストに自分が投票したい候補者名が無い場合には、画面の「write-in」と書かれた場所をタッチすることにより、画面上に記入画面が表示され、自由に名前を記入することができる。



- ⑤ 画面は、「Back」、「Next」、「Preview」を押すことにより、前の画面に行くことも次の画面に行くことも自分の選択結果を確認することもできる。

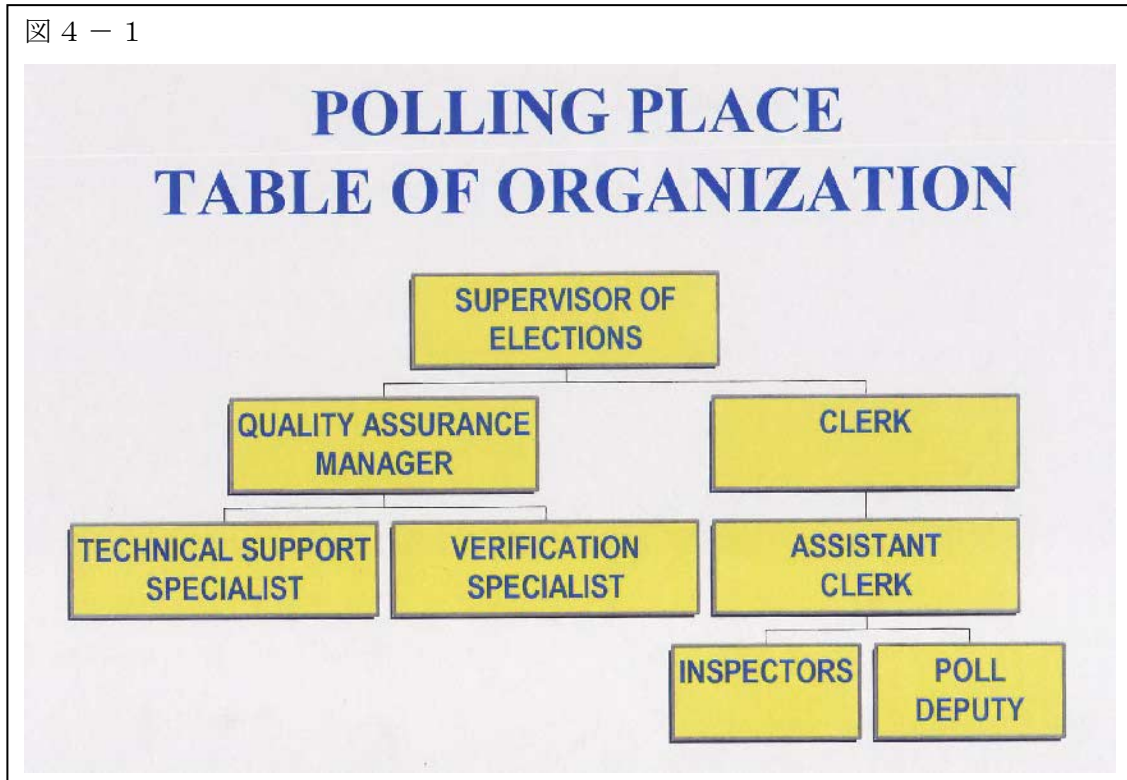


- ⑥ 選択結果を確認した後、「VOTE」ボタンを押すことにより、投票行為が終了する。

3 デイドカウンティの選挙執行体制

デイドカウンティでは、図4-1に基づき、選挙の執行が行われる。

図4-1



(1) **選挙管理委員長 (SUPERVISOR OF ELECTIONS)**

カウンティの選挙執行の最高責任者であり、全ての選挙手続き等に対して法的責任を負う。投票者の適格性、手続きおよび質問等についての最終決定権者

(2) **選挙管理副委員長 (QUALITY ASSURANCE MANAGER)**

委員長により任命され、委員長の補助として選挙の当日の選挙執行について監督する。

(3) **選挙管理委員会職員 (CLERK)**

各投票所の選挙執行を担当

(4) **テクニカルサポート職員 (TECHNICAL SUPPORT SPECIALIST)**

iVotronic システムの起動、停止およびトラブルシューティングの訓練を受けたカウンティの電算技術者職員

担当の地区でシステムの技術的な責任を負い、投票時間終了後、集計センターに結果を輸送する。

(5) **選挙資格調査職員 (VERIFICATION SPECIALIST)**

マイアミデイドカウンティの選挙人名簿がインストールされたパソコンとともに各担当地区に配置されており、選挙の当日選挙人の選挙資格が適正であるか確認する。

(6) **選挙管理委員会職員補助 (ASSISTANT CLERK)**

選挙管理委員会職員の補助を行う。

(7) **選挙従事者 (INSPECTOR)**

iVotronic のデモンストレーション、起動、選挙人の確認を行う。

(8) **投票所周辺警備者 (POLL DEPUTY)**

委員長により雇用され、投票所外の秩序維持の責任を負う。選挙管理委員会のメンバーではないが、選挙管理委員会職員または選挙従事者の指示に従う。

(9) **学生のボランティア**

この組織図には入っていないが、300人のボランティアの高校生が選挙の当日働く。高校生にとってはコミュニティーサービスという科目の実習の単位となる。無給

4 選挙従事者の仕事および訓練ガイド

「QUALITY ASSURANCE MANAGERS」、「CLERKS AND ASSISTANT CLERKS」、「POLL DEPUTIES」、「INSPECTORS」の4つの職それぞれの仕事の詳細が記してある「ガイド」と指導者用の「トレーナーズガイド」を使用して、各職員の訓練を行う。

(1) **「POLLWORKER GUIDE FOR QUALITY ASSURANCE MANAGERS」**

「POLLWORKER GUIDE FOR QUALITY ASSURANCE MANAGERSTRAINER' S GUIDE」

(2) **「POLLWORKER GUIDE FOR CLERKS AND ASSISTANT CLERKS」**

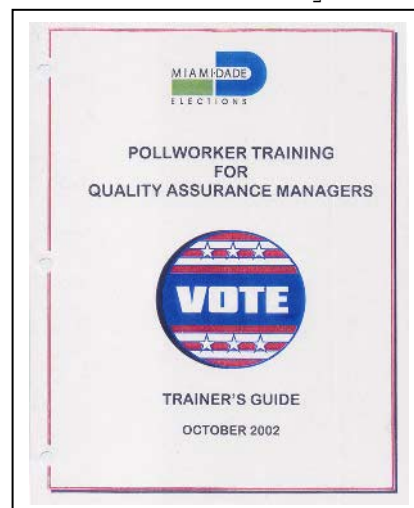
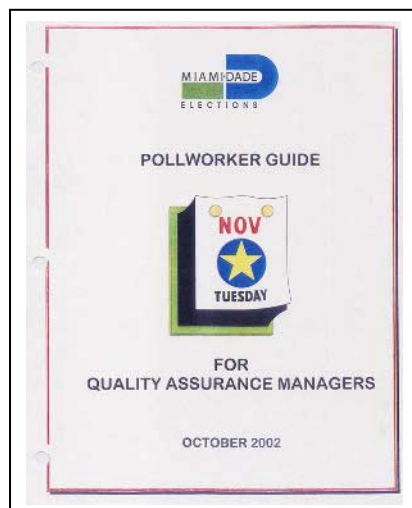
「POLLWORKER GUIDE FOR CLERKS AND ASSISTANT CLERKS TRAINER' S GUIDE」

(3) **「POLLWORKER GUIDE FOR POLL DEPUTIES」**

「POLLWORKER GUIDE FOR POLL DEPUTIES TRAINER' S GUIDE」

(4) **「POLLWORKER GUIDE FOR INSPECTORS」**

「POLLWORKER GUIDE FOR INSPECTORS TRAINER' S GUIDE」



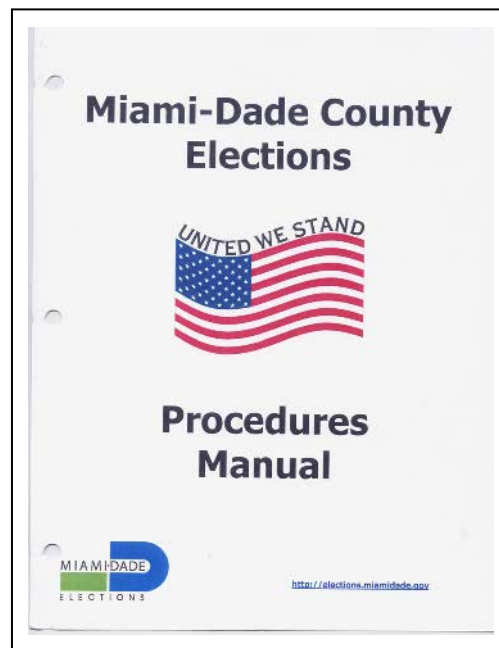
5 選挙従事者用マニュアル

デイドカウンティでは、各選挙従事者の選挙の手続きについて解説した。

「Procedures Manual」および各選挙従事者の仕事と訓練について解説した詳細なマニュアルを配布している。

○ 「Procedures Manual」の内容

- 1 導入部
 - 用語解説
 - 仕事の概要
 - 編成表
 - 全ての選挙従事者のための一般事項
- 2 選挙機器のシステム
 - iVotronic システムの概要
 - 機器の概要
 - 投票ブースの組み立て
 - 投票の手順
 - 視覚障害者用端末
 - 視覚障害者用端末の使用方法
- 3 投票所開場前の準備
 - 投票所会場前の情報
 - 投票所会場前のチェックリスト
 - 品質保証、技術支援等の確認書（サンプル）
 - 誓約書（サンプル）
 - 証明書（サンプル）
- 4 選挙の当日の手順
 - 投票所周辺警備者の仕事
 - 選挙人の勧誘（禁止条項）
 - 路上投票の手順
 - デモンストレーション選挙従事者の役割
 - デモンストレーション用 iVotronic の操作方法
 - 選挙人名簿確認選挙従事者の役割
 - 選挙人登録名簿（サンプル）
 - 誓約書（サンプル）
 - 特別な状況の場合の選挙従事者の役割
 - iVotronic 端末起動選挙従事者の役割
 - 投票する場所



- 5 特別な状況への対応方法
 - 誓約書（サンプル）
 - 特別な状況への対応方法
 - サインが異なる場合
 - 名前の変更がある場合
 - 投票区の選挙人登録名簿に名前が無い場合
 - 合法的な住所に変更がある場合
 - Challenge Vote²の方法
 - Challenge Vote の誓約書
 - 選挙人に特別な補助が必要な場合
 - 選挙人が投票に際し、補助者を求めた場合
 - 補助者の誓約書（サンプル）
 - 暫定投票(Provisional ballot)の方法
 - 暫定投票をする選挙人の証明書（サンプル）
 - 暫定投票の結果説明書（サンプル）
 - 代替投票用紙³の取り扱い
 - 代替投票用紙の結果説明書
- 6 投票における特別な状況
 - 使用言語を間違えて選択した場合
 - 投票ボタンを押さずに帰った場合
 - 投票所の閉場時間後の投票について
- 7 投票所の閉場の手順
 - 投票物資の梱包
 - 梱包リスト
 - 閉場後のチェックリスト
 - 閉場作業の確認表（サンプル）
 - 選挙従事者名簿について
- 8 特記事項
 - 投票立会人
 - 不在者投票の取り扱い
- 9 付録
 - 投票所開場前の iVotronics 起動
 - 投票所閉場後の iVotronics 停止
- 10 その他関連マニュアル

² Challenge vote:投票に来た選挙人が提示した写真付身分証明書または署名の偽造を行っているまたは、本人になりすました他人が投票をしようとした疑いがある場合、それを発見した選挙管理委員会職員は、選挙人に所定の様式に記入（記入を拒めば投票はできない。）させた後、投票できるかどうかについて選挙管理委員会の多数決により、決定することができる。なお、審査の間、選挙人登録名簿等全てのデータが選挙管理委員会に持ち出されるため、当該投票所は閉場される。

³ 投票用紙に何らかの間違い（候補者名の間違い、所属政党の間違い等）があった場合、電子投票機器を使用することなしに他の投票用紙（紙ベース）を使用することとしている。

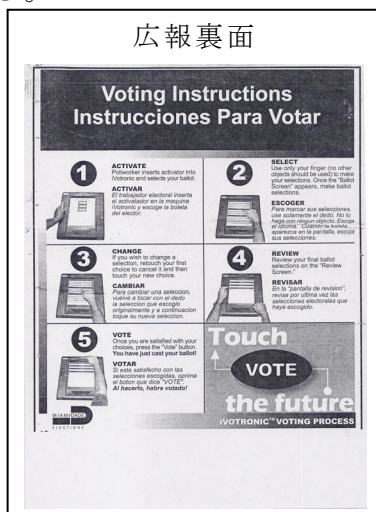
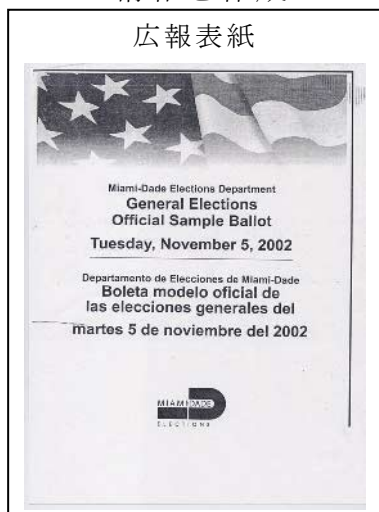
6 選挙人への広報および啓発

(1) 広報

12 ページで投票用紙のサンプル、投票機器の使用法および注意事項等が英語およびスペイン語で記載されている。

また、デイドカウンティでは、全ての選挙人に広報が郵送される。選挙人が3人いる家庭だと3通が配達される。投票所、インターネット、新聞からも情報を得ることができる。

視覚障害者の場合、デイドカウンティでは、特別に作成はしないが、普段から視覚障害者をサポートする組織があり、そこが点字または音声の情報を作成している。



(2) 選挙啓発グッズ

各カウンティでは、投票率向上のため様々な啓発活動を行っている。下記のグッズは、パームビーチカウンティで使用された啓発グッズである。また、派手な車を使用した啓発活動も行っている。

啓発用のカレンダー、ステッカー、定規、ペン、ピンバッチ、マグネット



7 11月4日（選挙日の前日）の投票所の模様

(1) STEPHEN P. CLARK CENTER

ステファン・クラークセンター（以下「センター」という。）では、事前投票、投票集計所、プレスセンター等全ての機能を集約している。

(2) 事前投票

デイドカウンティでは、事前投票⁴が認められている。事前票所の一つであるセンターには、50台の投票機が用意されており、この日は選挙の前日ということもあり、多数の人々が事前投票を行っていた。

センター外観



啓発ポスター



センター内で投票機器が空くのを待つ



(3) 不在者投票集計室

センター内に設置された不在者投票（郵送による投票）集計室では、膨大な量の不在者投票用紙が集め

集計室の様子



集計機



られ集計されている。不在者投票は、マークセンス方式を使用しており、機械にて集計される。なお、この不在者投票の集計結果は、選挙の当日19:00に選挙の当日の投票結果等と合算される。

⁴ フロリダ州における事前投票(early voting)は通称であり、法律上は不在者投票(Absentee voting)と規定される。法律上も事前投票が規定されるテキサス州とは異なる。

(4) 第 569-995 投票所の様子

デイドカウンティ内の第 569-995 投票所⁵では、翌日の選挙に向けて準備を進めていた。

受付カウンターの様子



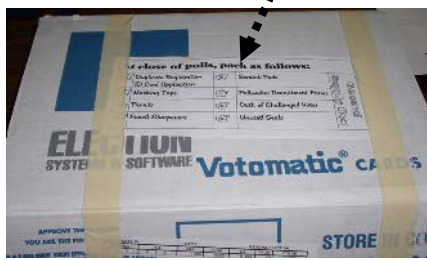
投票所内に並べられた iVotronic
(計 23 台+デモ機 1 台)



投票所内



投票物資 (チェック票)



投票物資



アクティベータ



iVotronic 起動選挙従事者がつけるエプロン(ポケットにアクティベータを入れることができる。)



⁵ 引退した教員のためのアパートにある集会所

8 11月5日（選挙当日）の投票所の模様

(1) 第581投票所の様子

① 投票所の様子

第581投票所は、科学博物館のロビーを使用している。投票所の壁には、罰則と注意事項が書かれた張り紙がしてある。

朝、6時には既に選挙従事職員が集合しており、最終確認をしていた。

7時の開場時間が近づくと職員が一箇所に集合し、宣誓が行われた。

開場数分前には、選挙人が数人開場を待っていた。

投票所の外では、候補者の支持者が、投票を促すパンフレット等を配布していた。投票所から50フィート離れていれば、こうした活動も認められる。

投票所周辺警備者は、このような勧誘活動が、適切に行われているか、確認することも仕事に含まれている。

7時に開場後、20分程で、投票機器は一杯になり、投票を待つ人の列ができたが、40分ほど経つと

その列も無くなり、スムーズに投票所の運営が行われていたようである。一人当たりの投票時間は、早い人は5分、遅い人でも15分程度であった。

第581投票所



宣誓



投票の様子



掲示



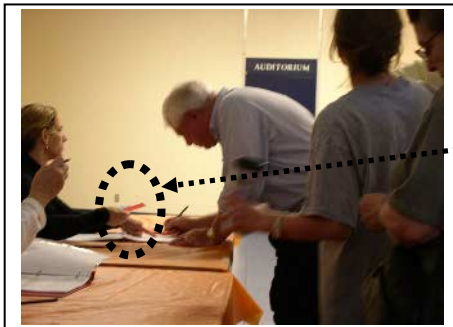
② 投票の流れ



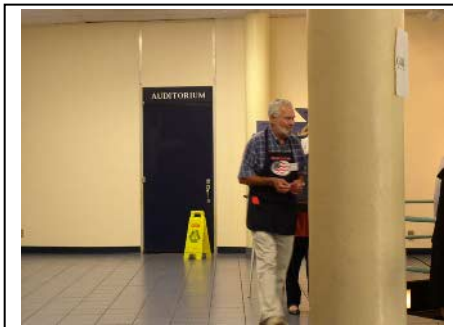
ア 投票所に入場した選挙人は、受付に行き、写真付身分証明書を提示し、署名をする。



イ 選挙人登録名簿確認選挙従事者は、選挙人の名前が名簿にあるかどうか確認する。この時点で、何らかの理由で選挙人登録名簿に名前がない場合は、暫定投票をすることもできる。



ウ 選挙人登録名簿に名前が確認された選挙人には、赤色の札が渡される。



エ 赤色に札を iVotronic 端末起動選挙従事者に渡すと空いているブースまで案内してくれる。iVotronic 端末起動選挙従事者が、赤色のアクティベータを端末に差し込むことで、投票をすることができる。



オ 端末の操作方法がわからない場合には、iVotronic 端末起動選挙従事者が、教えてくれる。

(2) 投票終了後の作業（第 569-995 投票所での投票終了作業）

19:00 に投票が終了



① 投票終了時直前の投票所内の様子



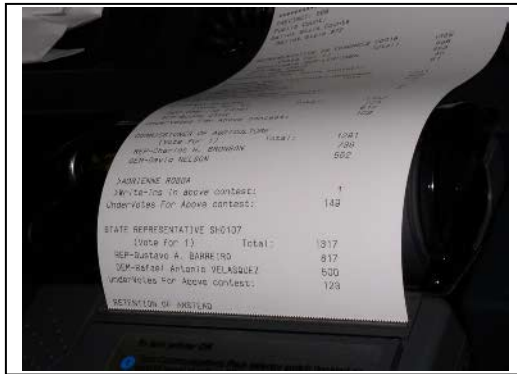
② 投票所閉鎖後、警察官が端末の画面の投票数を一台ずつ確認している。
画面には、何人投票したかという数字が表示されている。



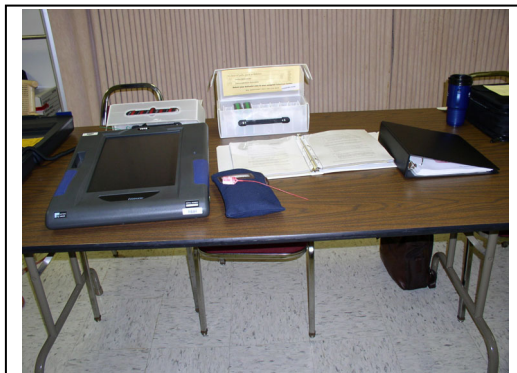
③ 青のアクティベータを使用して全ての端末からデータを吸い上げる。
(1台あたり2分) データを吸い上げた後、黄色のアクティベータで投票機をロックする。
写真は、全ての端末から吸い上げたデータを印刷用の端末に表示させているところ。



④ 端末からデータを印刷機に送信し印刷



⑤ 印刷されたデータには、誰に何票投票されたという情報が入っている。



⑥ 集計作業用の机には、集計用の端末、マニュアル、投票結果を入れる袋がおいてある。

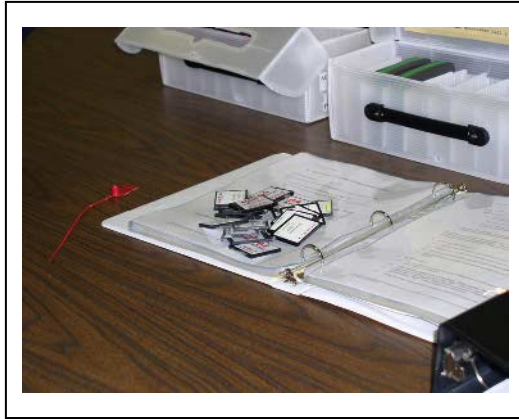


⑦ フラッシュメモリーカードを取り出す。



⑧ フラッシュメモリーカード





- ⑨ 各端末から集められたフラッシュメモリーカード



- ⑩ フラッシュメモリーカードが抜き取られた端末から解体作業を行う。



- ⑪ 青、黄色のアクティベータ、フラッシュメモリーカード、ゼロテープ（投票前にデータがゼロであることを確認するためにプリントアウトした紙）、投票結果テープ（投票結果を打ち出した紙）をこのバックに入れる。



- ⑫ 必要な物が全て入ったことが確認された後、証明書にサインをする。なお、バックは途中で開封できないように封印される。

(3) 選挙結果の移動（センターでの集計作業）

① 20:00



各投票所から選挙管理委員会職員により、次々とセンターに投票結果が運ばれる。

② 上記の入り口から10m程の部屋で所定の物が揃っているか確認を受ける。写真は、確認待ちの職員。



③ 投票結果を運ぶバックは、皆バラバラである。



④ 入り口には警備員が常駐している。





⑤ チェックを受けた投票結果は、別室（1階ロビーが使用されていた。）で警察官立ち会いのもと、再度チェックされた後、上の階にある開票所に運ばれる。



⑥ 1階ロビーの反対側では今回の選挙についての記者会見が行われていた。



⑦ プレス室には、投票結果の速報（上のTV）が逐次写されるとともに、開票所の様子及びプレス室の様子（下のTV）を見ることができる。

9 11月6日(選挙の翌日)の集計所の模様(パームビーチカウンティ)

パームビーチカウンティ(以下「パームビーチ」という。)は、人口1,131,184人のうち、70%以上を白人が占める。

(1) 電子投票システム導入の経緯

パームビーチでは、2000年の大統領選挙の際、民主党支持者から、投票用紙が紛らわしく、わかりにくかったため、違う候補者に投票してしまったという批判が続出したことから電子投票機器購入を決定した。カウンティでは、電子投票機器購入に関する専門委員会を作り、コンペを行った。

この結果、機械の正確さ、カリフォルニア州リバーサイドカウンティで使用された実績を持っているセコイア社製のタッチクリーン式投票機を購入した。(セコイア社製タッチスクリーン式投票機の詳細は、第3章米国の電子投票第3節「各州における電子投票の実践」1「カリフォルニア州リバーサイドカウンティ」参照)

システム構築に要した経費は、研修費用、機器、啓発等を含め、14,300,000ドルであった。

(2) 選挙の翌日のパームビーチの様子

① パームビーチの庁舎の中には、前日の選挙に使用されたブース等が集められていた。



投票ブース



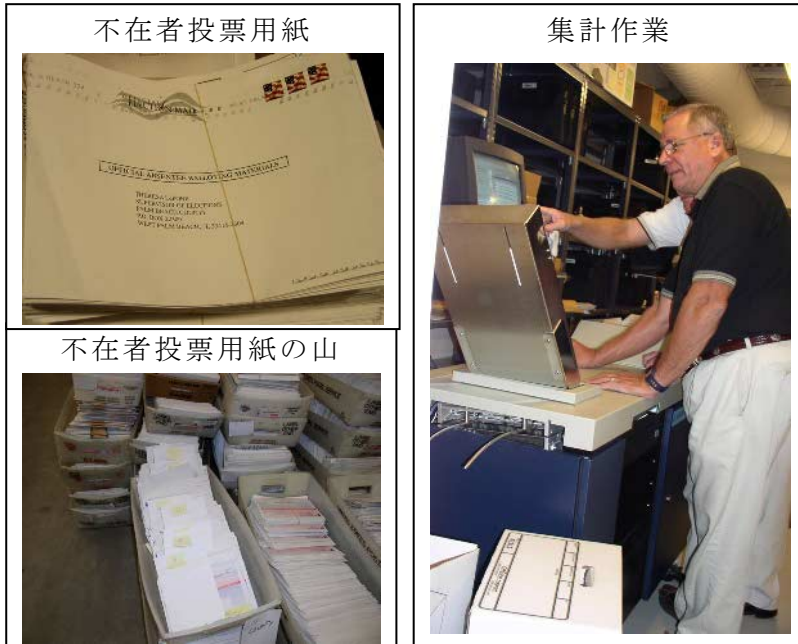
注意書き



看板



- ② まだ処理されていない不在者投票用紙を、機械を使用し集計。



- ③ 前日使用された投票機器が、カウンティの庁舎に徐々に戻ってきている。投票機器は、使用していない間にも充電が必要のため、倉庫には充電機器が装備されている。



- ④ 各投票所からのデータカードは、右のバックに入れて搬送される。



- ⑤ 各端末から取り出したメモリーカードの中にある選挙の当日のデータをパソコンで集計。集計が終わったカードは、番号順に整理される。



データ読みとり機（スロットにカードを差し込む。）



メモリーカード



整理後のカード



並べられたカード



- ⑥ 暫定投票の処理

フロリダ州法の規定により、各カウンティは暫定投票についての点検委員を作らなければならない。

点検委員会は3人で構成される。点検委員会では、選挙人登録名簿に選挙人の名前がない場合には、名簿とコンピューターのデータベース双方で確認する。両方に入っていない場合には、票をカウントするかどうか3人で相談する。3人の言動は、一言一句裁判所の記録係によってすべて記録される。

点検委員会により、適格であると認められるとカウントされるが、認められない場合には開封しない。資格が認められなかった投票用紙は封筒に“Rejected as Illegal”の印が押される。

作業をするときには各党から数人が観察することができるが、今回は一人が共和党から送られているだけで、民主党は送っていない。この一連の作業は、選挙終了から10日以内に終了させ、正式な発表を行わなくてはならない。

暫定投票の入った箱



審査の様様



【参考文献・参考 HP】

第 1 章

- ① 藤本一美著 「米国議会と大統領選挙」(同文社) 1998
- ② 金子善次郎著 「米国連邦制度-州と地方団体」(良書普及協会) 1977
- ③ 州政府協議会編 「*The Book of the States*」 2002
- ④ <http://www.fec.gov/> (Federal Election Commission)
- ⑤ <http://www.electionline.org/index.jsp> (Election Online)
- ⑥ <http://www.fvap.gov/index.html> (Federal Voting Assistant Program)
- ⑦ <http://www.gao.gov> (General Accounting Office)

第 2 章

- <http://www.gao.gov> (General Accounting Office)

第 3 章

- ① <http://www.fec.gov/> (Federal Election Commission)
- ② <http://www.nased.org/> (National Association of State Election Directors)
- ③ <http://www.nass.org/> (National Association of Secretaries of State)
- ④ <http://www.electioncenter.org/> (Election Center)
- ⑤ <http://www.hartintercivic.com/> (HART intercivic)
- ⑥ <http://www.diebold.com/> (DIEBOLD)
- ⑦ <http://www.sequoiavote.com/homePage.php> (SEQUOIA)
- ⑧ <http://www.essvote.com/connect/> (Election System Software)
- ⑨ <http://www.co.riverside.ca.us/> (リバーサイドカウンティ HP)
- ⑩ <http://www.tarrantcounty.com> (タラントカウンティ HP)
- ⑪ <http://www.harrisvotes.org/index2.htm> (ハリスカウンティ HP)
- ⑫ <http://www.mdvotes.org/> (メリーランド州 HP)

第 4 章

- ① <http://www.ncsl.org/> (National Conference of State Legislatures)
- ② <http://www.opensecrets.org/> (The Center for responsive politics)

第 5 章

- ① マイアミデイドカウンティ選挙管理委員会編
「*Miami-Dade County Elections Procedures Manual*」
- ② <http://www.dos.state.fl.us/> (フロリダ州 HP)

【執筆者】

ニューヨーク事務所 所長補佐 合田克彰